

第4-(2)号様式

付表2-1 課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表
〔経過措置対象課税資産の譲渡等を含む課税期間用〕

一 般

課 税 期 間	・	・	～	・	・	氏 名 又 は 名 称	
項 目	旧 税 率 分 小 計 X	税 率 6.24 % 適 用 分 D	税 率 7.8 % 適 用 分 E	合 計 F (X+D+E)			
課 税 売 上 額 (税 抵) ①							
免 税 売 上 額 ②							
非 課 税 資 産 の 輸 出 等 の 金 額 海 外 支 店 等 へ 移 送 し た 資 産 の 価 値 額 ③							
課 税 資 産 の 讓 渡 等 の 対 価 の 額 (① + ② + ③) ④							
課 税 資 産 の 讓 渡 等 の 対 価 の 額 (④ の 金 額) ⑤							
非 課 税 売 上 額 ⑥							
資 産 の 讓 渡 等 の 対 価 の 額 (⑤ - ⑥) ⑦							
課 税 売 上 割 合 (④ / ⑦) ⑧							
課 税 仕 入 に 係 る 支 払 対 価 の 額 (税 込み) ⑨							
課 税 仕 入 に 係 る 消 費 税 額 ⑩							
適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る経過措置の適用を受ける課税仕入れに係る支払対価の額(税込み) ⑪							
適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る経過措置により課税仕入れに係る消費税額がみなされる額 ⑫							
特 定 課 税 仕 入 に 係 る 支 払 対 価 の 額 ⑬							
特 定 課 税 仕 入 に 係 る 消 費 税 額 ⑭							
課 税 貨 物 に 係 る 消 費 税 額 ⑮							
納 税 義 务 の 免 除 を 受 け な い (受 け る) こ と な つた 場 合 に お け る 消 費 税 額 の 調 整 (加 又 は 減 算) ⑯							
課 税 仕 入 に 係 る 税 額 の 合 計 額 (⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬ + ⑭ + ⑮ + ⑯) ⑯							
課 税 売 上 高 が 5 億 円 以 下 、 か つ 課 税 売 上 割 合 が 95 % 以 上 の 場 合 (⑯ の 金 額) ⑯							
課 5 課 税 売 上 高 が 5 億 円 以 上 の 場 合 (⑯ の 金 額) ⑯							
【No.48】申告書第一表①欄の金額は、①のD欄、E欄（X欄に金額がある場合、付表2-2の各欄）の金額のそれぞれ1,000円未満切捨て後の金額の合計額と一致していますか（申告書第一表⑤欄又は付表2-1⑬の各欄に記載がある場合、返還等対価の額に相当する金額又は特定課税仕入れに係る支払対価の額が加算されていますか。）。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
【No.49】本店等との間の内部取引は資産の譲渡等に含まれないにもかかわらず、その対価の額を②F欄に含めていませんか。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
【No.50】非居住者から受け取る利子等（他の外国法人に対する貸付金や外国債券から生じる利子等）の額がある場合、その金額を③F欄に記載していますか。	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
【No.51】⑥F欄の金額には、次の金額を含めていますか。 (1) 有価証券の譲渡対価の5%相当額 (2) 土地等の譲渡対価の金額 (3) 受取利子の金額 (4) 集団投資信託の収益の分配金 (5) 従業員から受け取る社宅家賃等	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
【No.52】令和5年10月1日以後に行った課税資産の譲渡等に係る課税標準額に対する消費税額（売上税額）について、付表1-1②のD欄、E欄の金額を適格請求書に記載のある消費税額を積み上げて計算する方法（積上げ計算）により計算している場合、同日以後に行った課税仕入れに係る消費税額（仕入税額）について、⑩のD欄、E欄の金額を適用税率ごとの取引総額を割り戻して計算する方法（割戻し計算）により計算していませんか。	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯
【No.53】令和5年10月1日以後に行った課税仕入れに係る消費税額（仕入税額）について、⑩のD欄、E欄の金額を適格請求書に記載のある消費税額を積み上げて計算する方法（積上げ計算）により計算している場合、適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る税額控除に関する経過措置の適用を受ける仕入税額について、⑫のD欄、E欄の金額を適用税率ごとの取引総額を割り戻して計算する方法（割戻し計算）により計算していませんか。	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯
【No.54】課税売上高が5億円超又は課税売上割合が95%未満であるにもかかわらず、課税仕入れに係る消費税額を全額控除していませんか。	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯	⑯

注意

- 1 金額の計算においては、100万円の端数を切り捨てる。
 2 旧税率を適用されると取引が行われる場合は、付替2を適用してから当該料金を作成する。
 3 ①、②及び③の場合は、積算料、割引料等による仕入価格の還元等の額が発生する場合(仕入料金の返還等の金額を仕入金額から直接減算している場合を除く。)には、その金額を控除した後の金額を記載する。
 4 ④及び⑤の場合は、積算料、割引料等による仕入料金等の金額を記載する。
 5 例) 仕入料金等の金額が100万円の場合は、仕入料金等の金額を記載する。